

## 【屋久島町】 校務D X計画

### 1. 現状及び成果

本町では、統合型校務支援システムを導入している。セキュリティの確保のため、指導者用 G I G A 端末で使用する学習系ネットワークと校務系のネットワークは分離している。

校務共有システム (See-Smile) で教師間の連携を図り、校務支援システム (スズキ校務) により、出席簿・名簿・通知表・指導要録・健康診断票等のデータを一元管理し、デジタルで管理することで、校務の効率化が図られている。

### 2. 校務支援システムのクラウド化

本町は地理的特性上、人口に対する学校数がかかなり多い状況であり、令和2年度にオンプレミス環境として構築し運用してきた校務用サーバ及び統合型校務支援システムの更新等には、多額の予算が生じるものと思われる。今後は、現行システムの更新タイミングを考慮しながら、システムのパブリッククラウド上での運用を目指し、運用にかかるコスト削減を行ったうえで教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化に向けた次世代の校務D X環境を目指す。

### 3. ペーパーレス化の促進

#### (1) 学校と保護者間の連絡ツールをデジタル化

- ・町内各小・中学校へ、欠席連絡及び学級通信など各種連絡物をデジタル化するクラウドツールの使用を推奨する。

#### (2) FAX・押印の廃止

- ・F A Xでの学校間及び学校と教育委員会間でのやり取りは原則廃止とする。
- ・学校から教育委員会へ提出する書類において押印を必要とするものは、順次押印を廃止する。

#### (3) 汎用クラウドツールの活用

- ・県域アカウントを有効に活用し、会議でのペーパーレス化や教職員の情報伝達の即時性を重視したツールの活用を励行する。

#### (4) 校務プラットフォームの活用

- ・本町の校務プラットフォームである See-Smile を活用し、学校間及び学校と教育委員会間での情報伝達をペーパーレスに行う。